本の帯を作ろう
～芥川龍之介『羅生門』～

1年　　組　　番　氏名(　　)

目標

表現力	感情や想像を言葉にして，読み味わった内容を他者に伝える。
思考力	自分の考えに他者の視点を取り入れて，本の帯にふさわしい内容を考える。

1.はじめに

『羅生門』はどのような内容で，読み手にどのようなことを語りかけてきたでしょうか？
「本の帯を作る」というワークを通して，文章に描かれた人物・情景・心情などを表現に即して読み味わうとともに，感想などを他者と共有することで作品世界の出来事を読み深め，自分ひとりでは見えなかった小説の魅力を発見しましょう。

2.サンプル

次に挙げるのは,近年芥川賞を受賞した作品でベストセラーになった本の帯です。

作者	作品	帯
村田沙耶香	コンビニ人間	コンビニこそが,私を世界の正常な部品にしてくれる――。
又吉直樹	火花	この物語は,人の心の中心を貫き通す
綿矢りさ	蹴りたい背中	愛しいよりも,いじめたいよりももっと乱暴な,この気持ち

3.考えよう

『羅生門』を読み，多くの人にこの小説を読んでもらうために,「本の帯」を自分なりに考えて作成してみましょう。

自分が考えた本の帯

4.深めよう

a.グループで意見を交換しましょう。

他の人からもらったコメント	他の人の良かったところ

b.グループで「本の帯大賞」を決定しましょう。

あなたがグループで良いと思った「本の帯」	理由
グループで決めた「本の帯大賞」	**理由**

c.改めて,『羅生門』の「本の帯」を完成させましょう。

最終的に自分が考えた本の帯
あなたはコピーライターです。自分が考えた本の帯を出版社に売り込むために,プレゼンテーション用の説明を考えてください。(意図・工夫など) ★ここを丁寧に記述しよう！

d.あなたが考えた本の帯を,Googleスプレッドシートに入力してください。その後,他の生徒が考えた本の帯を見て,あなたが一番良かったと思う本の帯を選んでください。

あなたがクラスで良いと思った「本の帯」	理由

e.Googleフォームでクラス全体の「本の帯大賞」を投票してください。

6.振り返ろう

学んだこと,感じたことをGoogleフォームで入力してください。